

NPF プログラム報告書

コード No.21-S-009

提出日：令和 4年5月 1日

令和3年度「コロナ禍で困窮しているネパールの子ども達への食糧支援」報告書

特定非営利活動法人国際交流の会と

よなか (TIFA)

理事長 葛西 英紗

1. プログラムの目的

コロナ禍で収入が途絶え、食べ物を手に入れることのできないネパールの貧しい子どもを持つ家族へ食料支援をして危機を乗り切る。

2. 主な活動内容

当会は、1995年以来ネパールの東部の田舎ドダウリ村と2015年5月のネパール大地震の被害が多かったブンガマティ地区との支援活動を続けていましたが、令和3年度のコロナ禍で貧困家族が食料不足で緊急の支援が必要になりましたが、助成金を受けることが出来、即刻食糧支援をして貧しい100家族を助けることが出来ました。

スケジュール

2021年11月 現地との打ち合わせ
助成金を即刻現地へ送金。

12月 ネパール

ブンガマティ地区へ¥250,000 (Rs250,000)

貧しくて食料支援の必要な50家族へ各Rs5,000相当の米、粉、豆などを支給。

ドダウリ村へ ¥250,000 (Rs250,000)

必要とする50家族へ各Rs5,000相当の米、粉、豆を支給。

報告書提出

2. 助成を受けた活動の報告



必要とする家へ食料を手渡しました。(ブンガマティ)



村から感謝状をいただきました。
(ドダウリ村)

給食をもらった子供たち
(ドダウリ村)

4. 活動の成果 (成果物などがありましたらご紹介ください)

4月に入り、コロナ禍もすこし落ち着いて、貧しくて満足に食べられなかった子ども

も大半は学校へ行けるようになりました。

5. 今後の課題

*まだまだ食料は足りない状態が続いていますが、彼らと一緒に考え、解消する努力を続けています。

- 1, 食糧の自給努力。
- 2, 栄養改善努力。

*仕事作り

縫製・編み物(ブンガマティ)

縫製・キルト工芸(ドダウリ村)

収入に繋ぐ。

当会も協力して、日本の市場でも販売できるようなものを作るように指導し、現金収入につながる道をつける。